



震災時の通報受信訓練を実施

コールトリアージなど緊急時の対応力を強化

豊中市消防局は、大阪府北部地震から6月18日（日）で5年を迎えるにあたり、地震発生時の対応力の更なる強化を図るため、マグニチュード6弱の地震を想定した震災対応訓練を豊中市・池田市消防指令センターで実施します。同センターでは、豊中市、池田市、能勢町2市1町の119番通報を受信しています。

震災対応訓練の概要

【日 時】6月16日（金）・6月17日（土）・6月18日（日）

各日 10時から12時

【場 所】豊中市・池田市消防指令センター

（豊中市東泉丘4-6-7）

【内 容】各日同内容

◇震災発生時の初動対応

◇119番通報受信不能時の対応



（昨年度の訓練の様子）

《大阪府北部地震》

平成30年（2018年）6月18日7時58分、大阪府北部を震源としたマグニチュード6.1の地震が発生し、大阪府内で観測史上初となる最大震度6弱を観測、豊中市の震度は5強を記録し、負傷者39名、2,700棟を超える建物が被害を受けました。発災当日、消防指令センターには通常時の3倍を超える約350件の119番通報が入電しました。

※取材を希望する場合は、6月15日（木）17時までに、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【報道機関からの問い合わせ先】

豊中市消防局 消防指令センター

担 当：魚住・熊澤 TEL：06-6843-2345

E-mail：shirei@city.toyonaka.osaka.jp